

タルタマ通信

垂水高等学校だより

第9号

平成27年12月28日発行



創立90周年記念文化祭

~ INFINITY

僕らが創り出す無限の可能性~

思いっきり走りました!!

~ 校内ロードレース大会 ~

今年度は創立90周年記念の年で11月に記念式典を開催した関係で、文化祭を12月11日(金)と12日(土)の2日間で実施しました。初日は、

本校舎内で、毎年恒例になっている、垂水小学校の児童の皆さんをお招きしての「体験講座」や、メニューが7種という豪華な食物バザー、ユニークなクラス展示などをそれぞれ趣向を凝らした内容で実施できました。

2日目は、垂水市文化会館に会場を移し、ステージ部門を中心に取り組みました。太鼓、日本舞踊あり、ミュージカル風の劇あり、紙芝居やダンス、ストンプ、合唱、バンド演奏などなど、バラエティに富んだ内容かつクオリティの高いでき映えで御来場

の皆さんを魅了できた文化祭になりました。今年のテーマ、~ INFINITY ~僕らが創り出す無限の可能性~のとおりに、生徒たちの無限なる力を見せつけられた内容でした。今年の文化祭は、90周年に相応しい内容で、垂高

生の才能の底力とチャンネルの多さにびっくりすると同時に、生徒と一緒に教職員も参加した一面も垣間見ることができた文化祭でした。垂水市の温かい御理解と御支援

で文化会館での開催も3年目になりますが、おかげで生徒たちの張り合いも高まっています。来年は更にパワーアップした内容で皆さんをお迎えしたいと思います。御来場いただいた皆様方にお礼を申し上げます。ありがとうございました。



11月6日(金) 爽やかな秋空のもと第65回ロードレース大会が開催されまし



た。男子は9.7km、女子は4.7kmの距離を走りました。みんな自分の力を精一杯出し切りました。頑張りました。当日は、開会式には同窓会OBの方、沿道には地域や保護者の方々の応援、閉会式には、第27代校長の丸山真校長先生も御同席いただき、生徒たちの頑張りに声援や激励のお言葉をいただきました。お忙しい中、ありがとうございました。

性に関する教育講演会(山本文子先生) ~いのちってあったかい~

11月10日(火)にNPO法人「いのちの応援舎」理事長の山本文子先生をお招きして、標記の題名で講演していただきました。「性に関する知識は知らないと怖いことになる」、「しんどければ相談して」と先生の壮絶な人生の歴史をぐられた経験や熱い想いをパワフルに、真っ正直に人間味たっぷりにお話しいただきました。生徒たちの感想には「性に関しての間違った知識を正してくれた」、「命の大事さやかけがえのなさが先生の話からよく分かった」とあり、充実した講演会でした。



桜島大噴火!?

～ 抜き打ち避難訓練実施～

12月4日(木)午前中から雨がそば降る中、第2回防災訓練を実施しました。この日は、生徒には特に連絡せず、通常日程で授業を行うこととしていました。いわゆる「抜き打ち」です。昼食を終え、これから清掃というタイミングで「緊急放送」をかけました。「これまでにない規模の噴火が発生しました。生徒職員は安全を確保してそれぞれの指定場所へ避難してください。」と呼びかけた後、避難対策本部を設置し、生徒の安全状況を確認しました。生徒たちの安全確認報告は、抜き打ちで実施したにもかかわらず、5分以内という速さで確認が完了しました。

森伊蔵酒造さんから無償配布されたヘルメットをかぶり体育館へ移動しましたが、生徒たちはとても冷静に行動してくれました。桜島に一番近い高校ということで、日頃から防災意識が高い生徒たち。「さすが垂高生」という印象でした。本番のないことを祈るとともに、命の大切さと共助の意識を学びました。



夜間説明会実施

～ 垂水高校を正しく理解いただくために～

12月2日(水)本校開催をスタートして、3日(木)に鹿屋中央公民館、4日(金)鴨池公民館、15日(火)松ヶ崎地区公民館の4か所で夜間説明会を実施しました。本校を正しく理解していただく目的で、初めての試みでしたが、延べ60人の御参加をいただきました。校長から「何事にも前向きで、澆刺としていて、思いやりのある生徒」づくりを目指しています、とアイドル歌手や健康ドリンクをたとえ話にユニークで軽快なトークで進行しました。質問タイムでは、東進ハイスクールや垂水市の支援内容の質問や、「将来は になりたいです」、「 になるだけでなく、どんな になるかです」と、夢をみんなの前で語り、さながら中学校の学級会のような雰囲気で行った説明会もありました。年末の多忙な中に多数の御参加をいただいたことと、会場を提供してくださった公民館の関係者の皆様に感謝いたします。ありがとうございました。中学生の皆さん、本番当日まで、風邪を引かないで一生懸命勉強がんばってください。祈!合格!



地域を語ろう

～ 南の拠点ニーズヒアリング～

12月1日(火)本校において、垂水市が「南の拠点整備構想」を策定している企画で、地域に住んでいる高校生の声を今後の行政に活かすことを目的として、市の企画政策課の方々をはじめ、業者の方々に対して意見交換会を行いました。はじめは受け答えもぎくしゃくしていましたが、業者の方の慣れた進行のおかげで生徒たちもどんどん意見を出し合いました。若者の視点から社会資本の課題点や観光面、福祉面と1時間以内の制限がある中、時間を忘れさせる意見交換会になりました。法の改正で18歳から選挙権が与えられます。本校生も世の中の動きにアンテナを張り、地域行政に参画する意識が高まっているようです。頼もしい感じでした。

